

平成 28 年度事業 中間報告書 (12 月 1 日現在)

コース	<input checked="" type="checkbox"/> 自主事業コース <input type="checkbox"/> 協働市民提案コース <input type="checkbox"/> 協働行政提案コース		
事業名	市民の目で橋守れ「橋守」サポーター養成事業		
団体名	特定非営利活動法人 TEC.ECO 再生機構		
市担当課名	倉敷市市民活動推進課		
総事業費	435,000円	市の負担額	300,000円
<p>① 事業の概要 *事業の全体像を簡潔に記入してください。</p> <p>一般市民が身近な近所の橋に関心を持ち、理解してもらうために“「橋守」サポーター養成事業を進めてきた。今回は、一般市民や小中学生とともにいろいろな橋を見て廻り、そのあとストロー橋の模型を作るなどして、橋の基礎知識の習得や関心を持ってもらうように心がけた。</p> <p>また、土木遺産見学会で古い橋や流れ橋などの珍しい橋を見学して、橋に関心を持ってもらえるよう啓発活動を推進した。</p>			
<p>②事業の成果</p> <p>*平成 28 年度申込書 (様式第 2 号-1) に記載した「⑥事業の成果」に対応する 12 月 1 日までの成果を記入してください。また、実施した事業の詳細は「⑤事業実施記録」に記入してください。</p> <p>事業の最終成果としては、全国的に橋の老朽化が課題になる中、長寿命化修繕が必要な個所を行政と一般市民が協働で見廻り、橋に関心をもって見守るシステムの構築を目指してきた。</p> <p>まず橋に関心を持ってもらうために小中学生と保護者を対象に模型作りに挑戦してもらった。</p> <p>成果としては、予定人員の倍の参加者が集まり、アンケート結果も橋や土木に興味を持った子供たちが半数以上に上った。</p> <p>また、土木遺産見学会では、バスの都合で定員オーバーとなりお断りするほど、多くの人に参加してもらえた。参加者の多くが歴史に関心がある人が多く、見学会は満足いただけただけであるが、近くの橋に興味を持ってもらうまでには至らなかった。</p>			
<p>*事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば 100 点とします。</p> <p>なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は 100 点を超える点数を記入してください。</p>		90	点
<p>③ 事業の課題 *事業を実施する中で浮上してきた課題を記入してください。</p> <p>インフラの老朽化が進み、大きな社会問題になってきた現在において、低予算でインフラ整備をいかに行うかが喫緊の課題であると思われる。橋のような公共の施設においては、施設の管理者が中心になり、一般市民と一緒に橋の清掃などを行う「橋守」活動を推進することにより、一般市民の理解と協力を取り付ける努力が不可欠であり、啓発活動の継続を願う。</p>			

④事業実施記録 *実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
<p>「いろいろな橋を見て模型を作ってみよう」ツアー</p> <p>① 座学 ; 三角形(トラス)が強い訳</p> <p>② バスツアー ; 瀬戸大橋を渡り橋見学</p> <p>③ 模型作り ; ストロー橋の模型を作る</p>	<p>8月26日(金)</p> <p>10時~16時</p>	<p>玉島市民交流センター</p> <p>瀬戸大橋</p>	<p>5名</p>	<p>小中学生 ; 21名</p> <p>保護者 = 14名</p> <p>高校生4名</p> <p>インターン2名</p>
<p>市民企画提案事業実施報告会 (平成28年度倉敷まちづくりびと展)</p> <p>① パネル展示</p> <p>② まちづくりびと展参加</p> <p>③ パネル紹介</p>	<p>10月15日(土)</p> <p>9:30~13:15</p> <p>16日(日)</p> <p>9:30~13:15</p> <p>17日(月)</p> <p>9:30~13:15</p>	<p>アリオ倉敷1階</p> <p>センターコート</p>	<p>3名×3日</p>	<p>一般市民</p> <p>800名</p>
<p>土木遺産見学会</p> <p>① 座学 ; 玉島の歴史と土木遺産</p> <p>② 現場見学 ; 玉島湊周辺</p> <p>③ 座学 ; 高瀬通しについて</p> <p>④ バスツアー ; 旧霞橋~ノロ水門~真備川辺橋~矢掛流れ橋</p>	<p>10月23日(日)</p> <p>10:00~16:00</p>	<p>玉島市民交流センター</p>	<p>5名</p>	<p>市民22名</p>

⑤目標の進捗状況 *事業実施前に設定した目標のうち、特に力を入れて取り組んでいる目標を2つまで記入してください。また、その目標の進捗状況をパーセントで記入してください。すでに達成できている場合は100%になります。

<p>事業の目標として、イベント等に年間50名以上の人に参加してもらう目標に対して、63名と多くの人に参加してもらえた。(目標の進捗状況 ; 100%)</p> <p>イベントの持続性については、来年も同じような企画を願うアンケート結果が得られた。(目標の進捗状況 ; 90%)</p>
